

デマンド交通の 実証運行が始まります

チョイソコ
みはま

6月2日
スタート!

町では、6月2日からデマンド交通の実証運行を行います。

デマンド交通とは、利用者があらかじめ基本情報を登録し、利用したい乗降場所や時間等を予約することで、エリア内を乗り合いにて目的地まで運行するサービスです。

本町で実証運行を行う「チョイソコみはま」は、複数の利用者の目的地・到着時刻を専用のシステムにより計算し、複数の方が乗り合わせた上で目的地まで送迎する仕組みです。

今回、本町にて実証運行を行い、今後の運用方法や利便性について確認します。

会員登録制

登録無料

乗り合いで
ご希望の停留所へ

平日：午前9時～午後7時30分
休日：午前9時～午後5時

予約は
電話・インターネット

電話：午前8時～午後5時
インターネット：24時間

運賃

200円/1乗車

利用方法

①会員登録

●書面での会員登録

会員登録申込書に必要事項を記入し、郵送します。

●インターネットでの会員登録

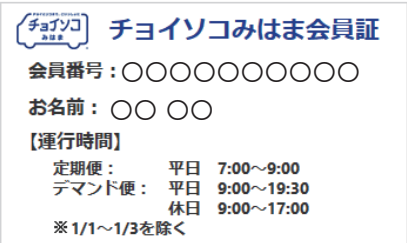
インターネット登録サイトにアクセスし、必要事項を入力します。



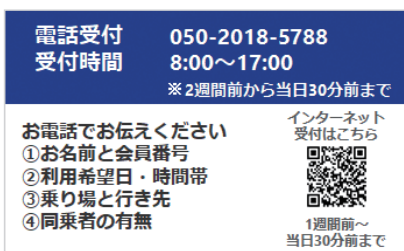
会員登録は
こちら

②会員証受取

カードサイズの会員証が届いたら利用可能です。



↑会員証表面



↑会員証裏面

③乗車申し込み

●電話予約

(利用希望日時の2週間前から30分前まで)

会員証に記載されている電話番号に電話し、次の4項目をお伝えください。

①名前・会員番号

②利用希望日時

③乗り場と行き先

④来てほしい時刻または目的地に着きたい時刻

●インターネット予約

(利用希望日時の1週間前から30分前まで)

スマートフォンで右記の二次元コードを読み込み、受付サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。



申し込みは
こちら

④指定した乗降場所または自宅で待つ

指定乗車場所(自宅前)で来てほしい時刻の5分程度前にお待ちください。なお、緊急の連絡をする場合がありますので、携帯電話をお持ちいただくことをお勧めします。

会員登録や利用方法等の詳細は、町ホームページをご覧ください。



ホームページ

※お問い合わせ先 町住民環境課(担当・武田) ☎32-6703

わたしの夢、語ります

竹長 ^{はな}花 さん 美浜西小学校 6年(久々子)

自分の輝きをみんなに

私の夢は、劇団四季に入団することです。

理由は、初めて舞台に立った時に「笑顔が素敵だね」と言われて「舞台に立つことは自分を輝かせることができる」と思ったからです。

私は昔、とても恥ずかしがり屋でした。すぐに泣いてしまうし、人前での発表等も苦手でした。

しかし、4歳の頃からバレエや歌を始めて、舞台に立つことで変わることができました。どんなに恥ずかしい演技でも「舞台に立ってはじけちゃえばいいんだ」と分かりました。

私が笑顔で舞台に立てば、みんなも笑顔になれます。劇団四季に入団するという夢が叶ったら、次は世界の舞台で演技したいです。世界の人たちが、私の舞台を見て元気になってほしいです。それが私のゴールです。



CONTENTS 目次 広報みはま2023年6月号

2 私の夢、語ります／表紙の写真／目次

3 デマンド交通の実証運行が始まります

4 第35回美浜・五木ひろしふるさとマラソン

8 まちウォッチング

美しい浜プロジェクトin水晶浜／織田神社例大祭／国吉城まつり 他

10 美浜町のニュース

榑椿本チエインと協定を締結／若狭美浜はまびより「道の駅」登録証伝達式 他

12 津波ハザードマップ・防災ハンドブックを更新

13 情報BOX

人権特設相談所を開設／保育園の園庭開放事業のご案内 他

19 ふるさと昔よもやま話134／文芸欄

20 美浜発電所の状況について

22 美浜の環境シリーズ157

24 すこやか放送局

26 ハートフル広場

はじめてバスデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ

28 くらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



5月1日に行われた弥美神社例大祭で、4年ぶりに奉納された王の舞です。

この度、弥美神社の王の舞が全国の祭りを特集するヒューマンドキュメンタリー番組「日本の祭り」に選定され、同日、「選定の証」が町に贈呈されました。

同番組では、全国500以上の祭りを選定・特集しており、県内では18回目、町内では3回目の選定となりました。

放送は、5月28日午後1時から福井放送(FBC)で行われます。

(関連第8頁)

第35回 美浜・五木ひろし ふるさとマラソン

5月14日に、第35回美浜・五木ひろしふるさとマラソンが丹生特設会場を発着点とした海岸線コースで開催され、全国各地から1,864人のランナー（ウォーカー）が参加しました。

午前8時30分から始まった開会式では、5年ぶりに来場された五木ひろしさんをはじめ、来賓の方々やゲストのベイベーさん、新浜レオンさん、朝花美穂さんから参加者に激励の言葉が贈られました。

当日は、雨が降りしきる中、選手たちは潮風を肌で感じながら、風光明媚な海岸線コースで健脚を競いました。



① 3 kmの部のスターターを務める五木ひろしさん②スタート直前、やる気十分な選手たち③笑顔でゴールに向かう選手たち④弁天崎給水所で水分とエネルギーをチャージ⑤雨が降りしきる中、5 kmの部スタート⑥開会式で五木ひろしさんがあいさつ⑦ウォーキングの部スタート⑧晴れ間が見えた1.5 kmの部スタート⑨潮の香りを感じながら走るランナー⑩ 10 km折り返し



Runner Interview



1.5 km親子の部に出場した

(左から) 田中 瑞穂さん (竹波)
田中 蒼大さん

本番までに4回練習しました。本番は、とてもきついコースでしたが、最後まで歩かずに走り切ることができました。

また、来年も出場したいです。



ランニングクラブ nrc の皆さん

中村 英志さん
(左から) 前原 孝弘さん (敦賀市)
谷口 直志さん

今回、出場した3人中、2人がそれぞれの部門で優勝し、ともに昨年から2連覇となりました。

来年も出場し、3連覇を狙いたいと思います。



10 km 39 歳以下女子の部で優勝した
工藤 裕美さん (長野県)

友人に誘われて、初めて出場しました。海岸の近くを通るコースのマラソンは初めてで、とても気持ち良かったです。

福井県にはあまり来たことがなかったので、これを機にまた訪れたいです。





↑ミニコンサートで熱唱される五木ひろしさん



↑戸嶋町長から表彰を受ける成績上位者

大会終了後は、五木ひろしさんとゲストの皆さんによるミニコンサートが開催され、観客からは大きな声援が上がっていました。

大 会は、10kmから1・5km、ウォーキングの全22部門に分かれて実施。成績上位者には賞状やトロフィー、副賞、母の日にちなんでカーネーションが贈られました。

記録（敬称略）※夫婦の部は、同距離部門に夫婦でエントリーし、2人の合計タイムで競う

部 門	参加者数 (人)	優 勝 者	タイム (分・秒)	部 門	参加者数 (人)	優 勝 者	タイム (分・秒)
10km29歳以下男子	99	福田 教人（敦賀市）	35:22	5km40歳以上女子	56	稲葉 恵里子（三重県）	19:28
10km30歳代男子	92	網谷 敏宏（美浜町）	33:42	3km中学生男子	12	田上 勇成（敦賀市）	12:15
10km40歳代男子	159	大久保 利哉（三重県）	33:19	3km中学生女子	7	上山 有咲（京都府）	13:35
10km50歳以上男子	298	押谷 昌之（愛知県）	37:15	3km一般女子	35	川崎 志保（兵庫県）	13:20
10km39歳以下女子	16	工藤 裕美（長野県）	50:01	3km50歳以上男子	128	宮崎 忠勝（富山県）	10:58
10km40歳以上女子	65	井野 光子（大阪府）	37:48	1.5km親子	88	田中 徹・柚緒（京都府）	5:53
5km29歳以下男子	105	高村 瑛太（大阪府）	16:21	1.5km小学生男子	11	山本 真広（美浜町）	6:08
5km30歳代男子	116	前原 孝弘（敦賀市）	16:24	1.5km小学生女子	15	松井 美佳（京都府）	5:30
5km40歳代男子	101	中村 英志（敦賀市）	16:46	5km夫婦の部	19組	山田 一政・ゆき江（愛知県）	41:37
5km50歳以上男子	149	磯部 健（大阪府）	18:23	10km夫婦の部	24組	井野 光子・洋平（大阪府）	1:18:05 (時・分・秒)
5km39歳以下女子	20	倉谷 早希子（若狭町）	18:29	ウォーキング	292	(計測無し)	

ボランティアスタッフの皆さん、ありがとうございました



消防団防犯隊による会場警備



ダイヤ浜給水所



荷物預かり所



ゴール給水所

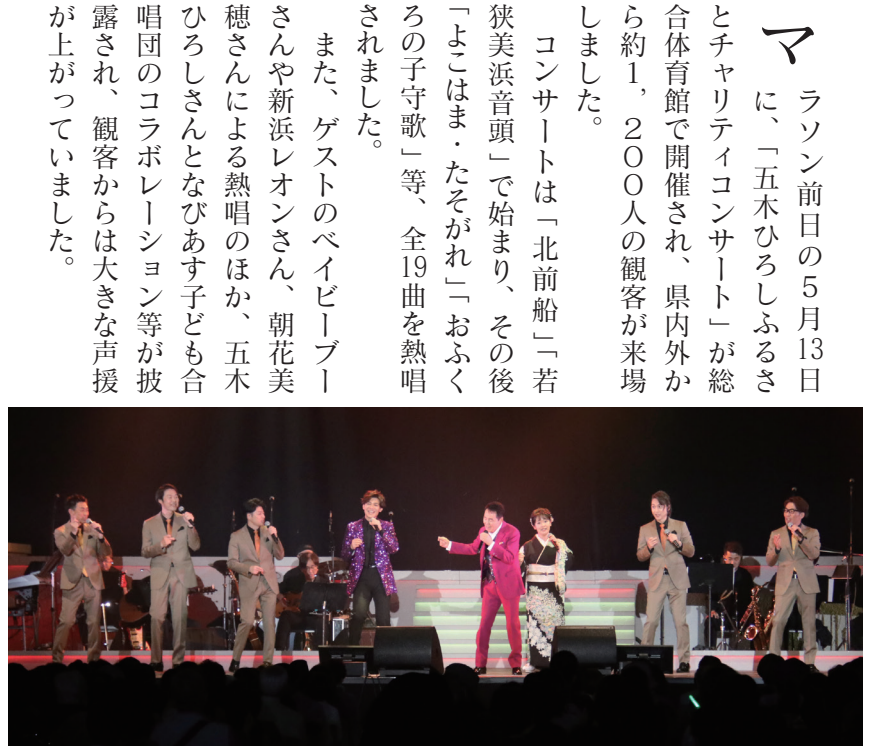


計測チップ回収

第35回美浜・五木ひろしふるさとマラソン開催記念 五木ひろしふるさとチャリティコンサート



↑数々のヒット曲を熱唱される五木ひろしさん



↑ゲストの皆さんと熱唱される五木ひろしさん

マ ラソン前日の5月13日に、「五木ひろしふるさとチャリティコンサート」が総合体育館で開催され、県内外から約1,200人の観客が来場しました。

コンサートは「北前船」「若狭美浜音頭」で始まり、その後「よこはま・たそがれ」「おふくろの子守歌」等、全19曲を熱唱されました。

また、ゲストのベビーブーさんや新浜レオンさん、朝花美穂さんによる熱唱のほか、五木ひろしさんとなびあす子ども合唱団のコーラス等が披露され、観客からは大きな声援が上がっていました。

Staff Interview



ゴール救護所
若狭医療福祉専門学校の皆さん
(左から) 西村 春輝さん
村上 諒さん
地域に貢献したいという思いでボランティアに参加しました。学校の先輩や先生方が頑張っている姿を間近で見て、私たちも目標に向かって頑張りたいと思いました。



丹生埋立地駐車場
納谷 昇治さん（丹生）
あいにくの天候でしたが、35回記念大会として、多くの人に来ていただき賑やかな日となって良かったと思います。
駐車場では、大きなトラブルもなく、無事に終わられました。

↓堂々とした演技を見せる子ども役者



4年ぶりの奉納 早瀬子供歌舞伎

5月3日に、日吉神社（早瀬）で山王祭礼が行われ、町の無形民俗文化財の「子供歌舞伎」が奉納されました。当日は、午前8時から曳山が区内を巡行。日吉神社前に着くと、化粧を施しきらびやかな衣装をまとった子ども役者による「寿式三番叟」が上演されました。凜とした子ども役者の演技に、観客からは盛大な拍手が送られました。（関連第27頁）

↓いちやりばちよーと新風によるステージイベント



歴史のロマンを感じて 国吉城まつり

5月5日に、国吉城まつりが若狭国吉城歴史資料館周辺（佐柿）で行われました。この催しは、国吉城とその周辺地域の歴史や自然を楽しんでもらおうと佐柿区や（一社）佐柿国吉100年プラン推進委員会等が開催したものです。当日は、福井伝統工芸アイドルグループ等によるステージイベント等が行われ、多くの来場者で賑わいました。

↓圧力と浮力を利用したおもちゃ「浮沈子」を作る来場者たち



エネルギーについて学ぶ きいばすGWフェスタ2023

5月4日から5日にかけて、きいばすGWフェスタ2023がきいばすで開催されました。同イベントは、ゴールデンウィークに合わせ、きいばすが開催したもので、サイエンスショーやかまど体験、省エネ講座、エネルギー工作教室等が行われました。来場者は、体験プログラムやショーを通して、さまざまなエネルギーのおもしろさを体感していました。

↓「浦安の舞」を披露する子どもたち



五穀豊穡を願って 織田神社例大祭

5月11日に、織田神社の例大祭が同神社（佐田）で行われました。4年ぶりに開催された例大祭は、感染症拡大防止のため、神輿等の一部神事が縮小して行われました。当日は、小学生による「王の舞」と「浦安の舞」が堂々と披露され、訪れた観客からは大きな拍手が送られました。

↓漂着したごみを拾い集める参加者たち



美しい砂浜を守るために 美しい浜プロジェクトin水晶浜

4月16日に、美しい浜プロジェクトが水晶浜で開催されました。このイベントは、町が取り組む美しい浜プロジェクトの令和5年度第1弾として開催され、竹波区民やボランティア、みはま応援クルー等、約300人が参加しました。参加者たちは、全長400mの海岸を清掃し、漂着したプラスチック等、約46㎡（軽トラック約61台分）を収集しました。

↓久々子湖沿いのごみを拾う参加者たち



三方五湖の環境を守る 三方五湖一斉清掃

4月23日に、三方五湖一斉清掃が行われました。この清掃活動は、三方五湖の環境と景観の保全を目的に、三方五湖保全対策協議会が主催したもので、町内の団体や企業から約150人が参加しました。参加者は、各々の持ち場に分かれ、久々子湖や日向湖の周辺を清掃し、プラスチックごみや空き缶等、約11㎡（軽トラック約15台分）を収集しました。

↓県の無形民俗文化財に指定されている「王の舞」



4年ぶりに王が舞う 弥美神社例大祭

5月1日に、弥美神社の例大祭が同神社（宮代）で行われました。4年ぶりに開催された例大祭は、感染症拡大防止のため幣押し等の一部神事を縮小して行われました。当日は、麻生区による「王の舞」や佐野区による「獅子舞」が奉納され、訪れた観客を楽しませていました。（関連第2頁）



まちウォッチング
atching



↑清掃開始前



↑清掃終了後